

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 認知症施策推進計画作成事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 介護保険者係 電話番号：058-272-1111 (内 2598)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 734 千円 (前年度予算額：734 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-----|------------|------------|------------|----------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財産 収入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 734 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 734 |
| 要求額 | 734 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 734 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

与党の議員発議(平成30年6月20日)による認知症基本法案が国会で審議されているところである。

基本法案は、都道府県に対し、国が策定する「認知症施策推進基本計画(義務)」を基本に、都道府県の実情にあった「認知症施策推進計画」を策定することを求めていることから、本県でも新たに「認知症施策推進計画」を作成する。

(2) 事業内容

- ・「認知症施策推進作成に係る有識者会議」の運営

県内学識有識者、認知症の人やその家族等により構成される会議において、計画の内容について意見を聴取する。(構成員24人、年2回開催予定)

※構成員 医師、認知症ケアに関する有識者、学識経験者、本人、家族
精神科病院協会、居宅介護支援事業協議会、老人福祉施設協議会、老人保健施設協会、県介護サービス事業者(認知症関係)、
県認知症疾患医療センター、市町村

- ・認知症の人及びその家族との意見聴取

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|--------------|-----|--------------------------|
| 報償費 | 294 | 会議構成員報償費 |
| 旅費 | 324 | 会議構成員費用弁償、職員業務旅費 |
| 需用費 | 28 | 消耗品費（用紙、コピー代）、会議費（会議お茶代） |
| 役務費 | 40 | 電話代、郵送代 |
| 使用料及び 賃借料 | 48 | 会議室使用料 |
| 合計 | 734 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 計画の策定

認知症基本法に基づき、5年毎に都道府県で策定。
また、その事業進捗・管理を行う。

(2) 他県の状況

事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

認知症は、誰もが成りうるものであり、家族や身近な人が認知症になることも含め、多くの人にとって身近なものであることから、認知症になっても認知症の人やその家族が希望を持って地域で安心して暮らし続けることができるよう社会を目指し、「認知症施策推進計画」を策定する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

| 指標名 | 事業開始前 | 指標の推移 | | 現在値 | 目標 | 達成率 |
|-----|-------|-------|------|------|------|-----|
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (H) | % |
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (H) | % |

○指標を設定することができない場合の理由

・「認知症施策推進計画」は策定が目的であるため、指標の数値化は不可。

(前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
認知症基本法案が成立しておらず、計画策定には至っていない。

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| <p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</p> | |
| <p>(評価) ○</p> | <p>認知症基本法に基づいた計画の策定であり、認知症施策の推進のため必要な事業である。</p> |
| <p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</p> | |
| <p>(評価) ○</p> | <p>新たな計画を策定するうえで必要な会議であり、県内の認知症施策を推進するうえで有効である。</p> |
| <p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</p> | |
| <p>(評価) ○</p> | <p>認知症の人やその家族を含む外部の有識者を構成員とすることで、公平・中立な評価や意見交換が可能な体制を確保している。</p> |

(今後の課題)

| |
|--|
| <p>引き続き、増加が見込まれる認知症の人や家族に対する福祉向上のための継続的かつ多面的な支援策の構築。</p> |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <p>計画の進捗管理を実施するほか課題の把握、対応策を議論し、県の施策の推進を引き続き図っていく。</p> |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|-------------------------------|---|
| <p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p> | <p style="text-align: right;">【○○課】</p> |
| <p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p> | |